

## 令和6年度の取り組み

### (1) 研究概要 (研究主題)

研究主題：「**生きる力を育むさいたま SDG s**」

#### [ 具体的な取り組み ]

- ① 「目標提示・振り返り」の実施。「ルーブリック評価」・「ICT」を活かした授業実践。
- ② 「ユニバーサルデザイン」の継続。
- ③ 「土呂中学校・指導案の型」を活かした「領域」の授業実践。→ [7月指導課訪問 (領域)]
- ④ 「土呂中 SDG s」の設定 → SDG sの中で重点項目を設定
- ⑤ 「指導課訪問 (7月)」による授業実践
- ⑥ 各学年でSDG sに関わる総合的な学習に時間による授業実践



### (2) 主題設定の理由

令和4年度のさいたま市学習状況調査において、30「地域や社会で起こっている問題や出来事に感心がある。」における肯定的な回答は、[市：1年76.5% 2年76.3% 3年77.1%][本校：1年85.4% 2年85.4% 3年83.7%]と大きく上回っている。その反面、80「総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて、情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか。」における肯定的な回答は、[市：1年90.0% 2年92.0% 3年92.2%][本校：1年90.8% 2年91.9% 3年91.8%]と同等かやや下回っている。

本校は「ユニバーサルデザイン」「主体的・対話的で深い学び」の前々研究、前研究で行った。これらの研究により、教職員の授業改善がなされ、生徒の「生きる力」を育むことができた。これは「よい授業」や「アクティブラーニング自己評価」「本校独自のアンケート」などの数値の上昇によって明らかである。今後もこれまでの研究でおこなってきた、「土呂中スタンダード」「話し合い活動を中心とした授業過程」「ICTの活用」「ルーブリック評価の活用」を継続する。深い学びを実現した教科及び総合的な学習の時間の授業によって身に付けた「生きる力」を生かして今日的な課題であるSDG sに取り組み、解決することで更に生徒の「生きる力」を育んでいきたい。総合的な学習の時間と各教科に関連した取組により、前述した数値を上げながら、更に子ども達の「生きる力」を育むように研究を推進していく。

(3) 学校教育目標・学校経営の基本方針との関わり

「学校教育目標」 = [ 主体的に生きる人間の育成 ]

「学校経営の基本方針」= [ 21世紀を主体的に生きる生徒の育成 ⇒ 行動する人へ ]

社会を生き抜く力→「21世紀型能力」：知る・考える・行動する

